

小学校

しょうぼうぶんかいさい

2年A組 ぼうやま かなえ

わたしは、しょうぼうのはつびょう会で、ここにのこったことが三つあります。

一つ目は、せりふのことです。前の日のれんしゅうのときに、「かえるくんが言いました」というところを、「がまくんが言いました」とまちがえてしまったので、しんぱいでした。本ぼんでは、ぜったいにまちがえないから、せりふを思い出しながら学校にきました。すると本ぼんではまちがえませんでした。

二つ目は、うたのことです。うたう時、のどがからからだったから、「うまいうたえるかな。」と思いがうたいましたが、きれいにうたえてうれしかったです。

三つ目は、かえるくん、がまくんへのお手紙のこと



です。わたしは、はじめてのれんしゅうのとき、わすれていたの、本ぼんの朝、「お手紙をもらってすぐうれしそうでしたね」と言うんだと思いながらきょうしつに行きました。

はつびょう会には、おかあさんとおばあちゃんが来てくれました。おわってから、おかあさんが手をふったので、わたしも手をふりました。

うまうたさいしょうぶぶんかいさい

3年A組 小池 縁

今日は、しょうぶぶんかいさいがありました。前日は、きんちょうしてむねがドキドキしていました。

はじめて練習した時は何が何なのか理かいてきませんでした。でも、何回も練習するにつれ、お話の内ようやセリフが理かいてきことができました。

本番は、朝起きた時からずっとドキドキしていました。学校に着いたらさらにきんちょう感がまして少しかけ気もち悪くなって、あぶなかつたです。いしょうに着がえて、アリーナに向かうと少しお

さまりましたが、中に入るとお母さんが、ぶ台の前にすわっていてまたきんちょうしました。げきが始まる直前にはきんちょうがなくなっていて、いつものけろつとした自分にもどりました。

本番、自分がみんなの前で目標を言った通り、いつもの2・5倍の声が出ました。おうちの方にもちゃんと聞こえたと思ひます。立てた目ひようがたつせいできてとてもよかつたです。



ふたつの「成人式」

4年A組 原 英汰

ぼくは練習のときはきんちょうしなかつたし、自分の言うスピーチやせりふもまちがえませんでした。お父さんが学校の用事で毎回来てくれますが、わざわざ仕事を休んでまで来てくれました。本当は行かないと言っていました。弟のたくとも連れてきてくれました。

本番でぼくはきんちょうしてまぢがえないか心配で、スピーチを

言うのをまちがえたりいろいろまぢがえたことがありましたができてよかつたです。スピーチの最中にいた人もいました。ぼくはなかつたできました。

先生たちがスライドを作ってくれて一年、二年、三年、四年の思いで写真や赤ちゃんのときの写真や今の写真がうつてすごくおもしろかつたです。それに、いそがしいのに作ってくれたりしてすごいいと思ひました。

終わってから先生が「出だしがよくできました」とみんなをほめていました。

心に残ったことはお父さんが無理してもたくとをだつこしてきてくれてうれしかつたし、先生方に出だしやスピーチをほめてくれてうれしかつたしいろいろな人たちが児童クラブの人まで来てくれてすごいと思ひました。自分の気持ちはずごくうれしかつたです。





中学校

駅伝大会を終えて

9年A組 犬飼 未亜

私は、昨年の悔しさを晴らすために、中学校最後の駅伝部に参加することにしました。練習中は、自己ベストが出せない自分に嫌になることもありました。その度に、昨年の悔しさを思い出し、選手になるという決意を自分に言い聞かせてがんばりました。そんな風になんと戦いながら練習を続け、ある日の練習で、タイムの速い5人の合計タイムが、昨年の1位の記録を抜いていると知ったときは、とても嬉しかったです。

大会当日、私は第4走者として大会に出場することができました。第3走者の子から1位で襷をもらい、1位をキープすることを目標に走りました。しかし、最後の端のところで抜かされてしまい、相手について行くので精一杯でした。私自身は、悔しさの残る大会でしたが、優勝できたことで、駅伝をやった本当に良かったと思います。このうれしさは、一生忘れな

いと思います。

7年生の頃の私は、長距離の記録は遅く、サボってばかりで、自分に甘い、弱い人間でした。努力次第で人は変われると知ってから、走ることが楽しいと感じるようになりました。私がここまで成長できたのは、鬼頭先生や大久保先生のおかげです。辛いときにも支えてくれた家族、先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。最高のメンバー、最高の結果で中学校の駅伝部を締めくくることができました。最高の思い出をありがとうございました。来年参



駅伝大会を終えて

9年A組 神部 大希

僕は、3年間を通して、自分がこんなに強くなるとは思っていませんでした。7年生の頃は、本当に走ることが嫌いで、きついし走っていて意味があるのかと思っ

ていました。しかし、練習していくうちに、走り終わった後の達成感に喜びを感じるようになり、どんどん自分から走るようになりました。

それからは、家族も本気で応援してくれるようになり、母は、地域で行われるマラソン大会に応募してくれるようになりました。僕は、家族の思いに答えられるよう一生懸命走りました。

8年生の駅伝大会では、目標としていた8分台が出せませんでした。途中で減速してしまったことが失敗だったと思います。その時は、すごく自分が情けなくて、悔しかったです。その悔しさをバネにして、自分の良さを出すには、どんな練習が必要だろうかと思えるようになりました。

最後の駅伝大会の目標は優勝だったので、達成するために、毎日家で自主的に走りました。仲間もだんだん早く走れるようになってきて、負けれないという思いが力になり、張りのある練習ができました。

そして最後の駅伝大会、エース区間の第一区だったので、そこに采配された先生の期待に応えられ

るよう全力で走りました。記録は、8分38秒でした。区間賞には、わずか1秒届きませんでした。が、昨年の悔しさを晴らすことができて、本当に嬉しかったです。3年間駅伝をやった本当に良かったと思いました。一人で練習を積み重ねてきた日々も、悔いはないです。僕は、走ることに大好きです。この経験をこれからの生活に活かしていきたいです。



飛島学園 1月の行事予定

- 7日(月) 始業式㊦㊧
- 8日(火) 給食開始㊦㊧
- 15日(火) 学校公開日㊦㊧
- 17日(木)～18日(金)
学年末テスト(9年)㊦
- 18日(金) 口座振替日
- 28日(月)～30日(水)
三者懇談(9年)㊦